

# 雪道の安全確保

# 除雪はみんなの協力で



いつでも出動できます

今年も、もうすぐ厳しい冬が到来します。十一月に入ると、四日には山間部で冠雪が認められ、市内でも八日、九日と二日間にわたり風雪の荒天となり、昨年と比較すると一週間早い初雪となりました。市では、十二月一日に除雪対策本部（土木課内）を設置し、できる限り市民の皆さんへの要望に応えるような除雪体制を整えて作業を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 除雪車両を

一〇〇台配置

この冬、市が除雪を担当する路線の総延長は四百五十四キロメートル。その内訳は、市道三百九十九キロメートル、歩道二十五キロメートル、私道二十九キロメートルで、昨年と比較して十キロメートルの伸びとなっています。

歩道や通学路の除雪は交通弱者の立場から毎年寄せられる要望で最も多く、交通量の増加にともない重要な課題と受け止めています。道路構造、除雪機械、工法など多くの課題を抱えています。今年はこの課題の克服の第一歩として、除雪延長を三キロメートル延ばし、早期に除雪可能な体制をとるよう計画しています。

除雪車両は、グレーダーやロータリーなど市直営車が十三台、民間からの借り上げ車両が八十七台、計百台が待機しています。これらの機械の機動力に併せ、除雪に係る各係員は除雪区域のパトロールや気象情報の収集など降雪に備えています。

## 幹線道路から 順に除雪します



除雪作業は国、県、市が分担して行っており、国道は国、県道は県、市道は市が担当しています。毎年皆さんから「除雪車がまだ来ないがどうなっているのか」というお叱りの電話をいただきます。市では、気象情報をもとに降雪量が五・七センチ以上と予想される場合に速やかに出動し、交通量の多い幹線道路やバス路線、通園・通学路線など緊急性の高い路線から順に作業を行います。したがって、地域によってどうしても作業が遅れてしまう場合もありますので、あらかじめご了承ください。通常除雪作業は午前三時ごろから開始し、通勤・通学等に影響を及ぼさないように午前七時三十分